

# 議員と話そう カフェトーク

～若者たちとの意見交換会～

昨年11月に「議員と話そう カフェトーク」と題し、市立長野高校の生徒さん、清泉女学院大学文化学科の学生さんと、2回にわたり意見交換を行いました。

例年、意見交換会は委員会ごとにテーマを決め、市民の皆さんに市役所にお越しいただいて行う方式でしたが、今回は初めての試みとして、高校生や大学生を対象に、議員が学校に出向く方式に変更して意見交換を行いました。

意見交換では、若い皆さんから多様な意見が積極的に出され、私たち議員も若者の視点で議会や市政を考えるよいきっかけとなりました。

若者の政治への無関心、投票率の低下等が課題になっていますが、このような機会を通じ、若者が議会や市政にさらに関心をもっていただければと思います。

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

ながの  
だより  
市議会  
令和6年  
12月定例会  
NO.129

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～4
- ◆市政に関する質問の要旨…5～13
- ◆常任・特別委員会のうごき…14・15
- ◆市民と議会の意見交換会…裏表紙

清泉女学院大学



市立長野高校



ポアルス長野フットサルクラブ Fリーグ2024-2025 ディビジョン2にて全試合負けなしで優勝！  
& 1部昇格！ 来シーズンもさらなる健闘を祈って、いっしょに応援しよう！

## 市議会定例会

会期  
11月28日  
12月16日

12月市議会定例会が11月28日から12月16日までの十九日間の会期で開かれ、令和6年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました(3〜4頁参照)。補正予算など、主な議案の概要を紹介します。

### 補正予算の内容

12月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに十三億一千三百三十五万五千円を追加し、一般会計予算総額は一千七百二十一億七百十六万六千円となりました。主な内容は次のとおりです。

#### ◆会計年度任用職員処遇改善関係

**会計年度任用職員の勤勉手当の支給等**

長野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正に伴い、会計年度任用職員の勤勉手当の支給等に要する経費が追加されました。

また、これに伴い、長野市国民健康保険特別会計への繰出金、長野市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰出金、長野市介護保険特別会計への繰出金、長野市授産施設

特別会計への繰出金が、それぞれ増額されました。

(二億二、八八万三千円)

#### ◆総務関係

**第二庁舎空調設備改修事業**

経年劣化が進む空調設備の改修に要する経費が追加されました。

(二億一、六七〇万九千円)

**移住支援金**

東京圏等から移住し、就業した者等に対する支援金の支給に要する経費が増額されました。(三、一八〇万円)

**職員人件費の減額**

人事異動等に伴う年間所要額の調整により、職員人件費が減額されました。(△一億五、七三三万四千円)

#### ◆民生関係

**障害福祉システム改修事業**

就学前障害児の発達支援無償化に係る認定手続きの簡素化等の制度改正に伴う障害福祉システムの改修に要する経費が追加されました。

(一、二二三万円)

**結婚新生活支援事業補助金**

新婚世帯の経済的不安を解消するための住宅の取得、家賃等に要する経費に対する補助金が増額されました。

(三、三九五万二千円)

**福祉医療費給付事業**

子どもや障害者、ひとり親家庭等の福祉医療費の支給に要する経費が増額されました。

(二億二、三七二万五千円)

**老人ホーム入所措置**

環境上の理由、経済的理由等により、在宅生活が困難な高齢者の養護老人ホーム等への入所措置等に要する経費が増額されました。

(五、七六二万四千円)

**障害者介護給付費・訓練等給付費**

生活介護や就労継続支援などの障害福祉サービスに係る障害者介護給付費等に要する経費が増額されま

した。(六億二、八一七万円)

**延長保育事業補助金**

私立保育所等が実施する延長保育に要する経費に対する補助金が増額されました。

(一、二三九万円)

#### ◆土木関係

**公園施設魅力アップ事業**

犀川第二緑地内の未利用地を有効活用し、ドッグランを整備するために要する経費が追加されました。

(一、二五〇万円)



犀川第二緑地内ドッグラン整備予定地

# 12月定例会 審議結果一覧

\*賛否などの態度が分かれた議案等(■)については、議員別賛否一覧を御覧ください。  
\*議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名		議決の状況	件名		議決の状況
市長提出議案等(40件)	第119号 令和6年度一般会計補正予算	可決 全員賛成	市長提出議案等	第129号 手数料条例及び中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成
	第120号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第130号 保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成
	第121号 令和6年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算	可決 全員賛成		第131号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成
	第122号 令和6年度介護保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第132号 国民宿舎松代荘の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	可決 賛成多数
	第123号 令和6年度授産施設特別会計補正予算	可決 全員賛成		第133号 飯綱高原観光施設の設置及び管理に関する条例及び戸隠観光施設の管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 賛成多数
	第124号 令和6年度一般会計補正予算	可決 全員賛成		第134号 厚生住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成
	第125号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第135号 豊野老人福祉センターの指定管理者の指定	可決 全員賛成
	第126号 令和6年度水道事業会計補正予算	可決 全員賛成			
	第127号 令和6年度日原財産区特別会計補正予算	可決 全員賛成			
第128号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	可決 全員賛成				

← 4頁に続く

## 住宅耐震対策事業

旧耐震基準で建てられた住宅の耐震化を促進するための耐震診断士の派遣に要する経費が増額されました。  
(三九〇万円)

## 主な議案の内容

**長野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正**

会計年度任用職員に対し、新たに勤勉手当を支給することに伴い、改正されました。

**長野市国民宿舎松代荘の設置及び管理に関する条例等の一部改正**

観光文化部観光振興課所管の湿浴施設の利用料金に係る上限額を見直すこと等に伴い、改正されました。

**長野市飯綱高原観光施設の設置及び管理に関する条例及び長野市戸隠観光施設の管理に関する条例を一部改正**

長野市飯綱高原キャンプ場及び長野市戸隠キャンプ場の利用料金に係る上限額を見直すこと等に伴い、改正

正されました。

**長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を一部改正**

長野市廃棄物減量等推進審議会の答申に基づき、一般廃棄物に係る処理手数料を見直すことに伴い、改正されました。

**財産の取得**

南長野運動公園総合運動場体育館に配置する、移動式バスケットゴールの取得について議決しました。

**六件の工事請負契約を締結**

ゼロ市債(仮称)芋井総合市民センター整備事業建築主体工事(三億六、八一七万円)、国補加茂小学校



長野運動公園総合運動場水泳場 (アクアウイング)

北校舎長寿命化改修建築工事(三億九、二五三万五千円)、国補若槻小学校中校舎外長寿命化改修建築工事(四億九、八三〇万円)、国補浅川小学校南校舎外長寿命化改修建築工事(六億五、八九〇万円)、アクアウイング長寿命化改修第一期工事(二億二、七八〇万円)、柳原雨水調整池整備工事(四億三、〇七一万六千円)の施行のため、それぞれ相手方と工事請負契約を締結することについて議決しました。

**交通事故に関する和解**

市内で発生した交通事故について、損害賠償金を支払うことで市と相手方が合意に至ったことから、この和解について議決しました。

**人事案に同意**

教育委員会委員に田中亜希子氏(新任・上松四丁目)を任命すること、公平委員会委員に金子肇氏(再任・若里四丁目)を選任すること、固定資産評価審査委員会委員に北澤元一氏(新任・大字東和田)を選任すること、西寺尾本郷財産区管理委員に田野口昇氏(新任・松代町西寺尾)を選任することについて、それぞれ同意しました。



# 質問の要旨

12月定例会本会議では二十五人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

## 代表質問

新友会 寺沢さゆり

**問** 市長は就任から三年が経過したが、残り一年の任期はどのような思いをもって重点施策を展開するのか

**答** 任期後半の取り組み方針として進めている様々な施策・事業を確実に進めながら、全力で走り切る飛躍の年としたい。将来を見据えたビジョンや、ありたい姿を描きながら、また、予算編成に対する様々な要望も踏まえながら新たな取り組みに着手していく。

**問** 厳しい財政状況が続くと予想されるが予算編成にどう取り組むのか

**答** 令和5年度の決算は三十七億円の実質収支で健全財政を維持できた。しかし、今後5年間にわたる財政推

計では、社会保障関係経費の増加、人件費の大幅な増加、公共施設の寿命化対策、国民スポーツ大会等に向けた施設整備、公債費の増加が見込まれ、非常に厳しい財政運営が予想されている。また、国での年収の壁の見直し内容により、本市財政に非常に大きな影響がある。健全財政を維持できるよう、めり張りの利いた予算編成になるよう取り組む。

**問** 能登半島地震から十一月がたつが、被災地はまだ支援が必要。今後も継続した職員派遣が求められていると感じるが、また、移動式トイレの購入を望むが、本市の考えは

**答** 引き続き被災された自治体に対



石川県珠洲市で被災状況の確認を行う長野市からの派遣職員

し、できる限り支援していきたい。派遣職員の増員も含め検討する。

**答** 災害用トイレについては、移動式トイレの導入も含め検討する。

**問** 健康づくりもまちづくりも市民の健康に直結している。一企業一花壇事業を取り入れ、歩いているうちに自然と健康になるまちづくりを、市民、企業、行政が一体となって行つては。また、社会参加や健康づくりが目的の高齢者に、城山公園駐車場の割引を導入する件の検討状況は

**答** 行政と市民で取り組んできた公共緑化事業が、一企業一花壇事業のように企業も加わり、一体となって進められることは大変有効な取り組み。今後検討していく。高齢者に対する駐車場料金の割引は、導入に向けて検討する。

**問** 子どもの体力向上等のため、保育園などの園庭の芝生化を進めては

**答** 子どもたちにとってよりよい保育環境の構築にもつながる取り組み。モデル的な事業実施を検討する。

**問** 聴覚障害者が安心して情報提供を受けられるよう、市の考え方と対応は。全ての市有施設が障害者にや

障害のある人もない人も  
すべての人にやさしいお店

長野市障害者にやさしいお店登録制度

「長野市障害者にやさしいお店」の登録店に貼られているステッカー。登録店の一覧は、右のQRコードからご覧いただけます。



さしいお店に登録することを望むが

**答** 手話言語条例制定を見据え、障害者が等しく情報を取得でき、ユニバーションにおいて障壁がなくなるよう環境整備をしていく。

**答** 市有施設もやさしいお店に積極的に登録し、市内の至るところがやさしいお店のシンボルマークでいっぱいになるようにしていく。

**問** 小規模工事全般の一角見積りの上限額について、資材や労務単価上昇の影響を考慮した検討状況は

**答** 上限額及び諸経費率を見直し、令和7年4月の施行をめざしている。

**問** 長野市の不登校の状況と子どもたちの気持ちや状況に寄り添いながらの支援策は

**答** 令和5年度の市立小・中学校の不登校児童・生徒数は千六百六十八人で4年度から三百五十九人増加。支援が行き届きにくい子どもには、専門の支援員が家庭訪問する訪問型アウトリーチ支援を検討する。

共産党 滝沢 真一

**問** 10月27日投開票の総選挙では政治資金パーティーと裏金問題が大きな争点となり、自民党、公明党は与党過半数割れに追い込まれるという歴史的大敗を喫した。まさに「政治とカネ」をめぐる問題に国民が審判を下した結果となった。この結果を市長はどう受け止めるか

**答** 与党に対し国民が厳しい判断をしたものと認識している。

**問** 長野市と飯綱町を結ぶ長電バスの牟礼線は、土曜と祝日の運行本数を減便、日曜は運休となっていた。12月からはさらに平日を減便、日曜に加え、土曜・祝日の運行を完全に取りやめる。令和7年10月をめどに



長電バスが運行する牟礼線

路線自体の廃止を含む見直しを計画しているとのこと。路線沿いに住む皆さんからは「通勤に使っているが、土日は利用できないのでシフトを外してもらっている。路線がなくなれば仕事に行けない」「定期的に病院に行くのに使っている。タクシーは高く使えない」など、切実な声が寄せられている。地元の皆さんが利用する大切な生活路線はなくなりましたではすまない。今後の対応は

**答** 牟礼線が廃止された場合、若槻地区において公共交通機関がない交通空白が生じ、三輪地区の一部で交通不便地域が発生する。現在、新たな公共交通、交通手段の確保に向けて関係機関と検討中。方向性が決まり次第、地域の皆様とも協議し、地域の足が確保されるよう進めたい。

**問** 方向性が決まってから地域に話をもっていったのでは遅いのではないかと。方向性を決めるにあたって地域から意見を聴くべきでは

**答** 現状の調査の中で地元の皆さんの意見等を聴きながら方向性を定め、地元の皆さんと調整していく。

**問** 長野駅前B-1地区市街地再開発事業の今年度の事業費は二億二千万円から三億二千七百三十三万円に、補助金は九千五百万円から一億四千五百四十八万円に膨れ上がっている。これはまだ事業計画作成等にかかる費用にすぎず、資材価格高騰のもとで建設が始まれば約百八十六億円の事業費と五十三億円の税金投入額はどこまで膨れ上がるのか。現時点での物価や人件費の高騰分を踏まえた総事業費は計算しているのか

**答** 準備組合では建設費の変動などを見込んだ事業計画の作成を進めている。市としても事業費の変動や進捗状況に応じ、補助金も適時見直ししていく必要があると考えており、算定にあたっては国の要綱などに基づき、適正かつ十分に精査していく。

**問** 長野駅前B-1地区は長野市の

玄関口だ。デベロッパ任せにマンション建設中心の再開発を進めるのではなく、どんな街にすることが求められているのか広く市民の声を聴き、市が主体性をもって市民とともにまちづくりを進めるべきでは

**答** 市は都市計画決定の手続きにあたり、地元説明会や公聴会、計画家への意見書の受付等を実施してきた。準備組合は若者との意見交換会、建物の商業空間に関するアンケート調査も実施。多くの皆様の意見も参考に、事業計画の作成を進めている。

**問** 多くの意見を参考にしているというが、あくまで現計画に対する意見ではないか。長野駅前の玄関口をどういう街にしていけるのか、その時点から市民の皆さんの声を聴いて計画を立てるべきでは

**答** 若者との意見交換会、アンケートについては、確かに本事業に基づく内容に関して聴取したものを。

公明党 堀内 伸悟

**問** 二〇二七年末で蛍光灯が生産終了となる。地域公民館のLED化に特化した補助金を創設すべきでは



令和元年東日本台風の際に設置されたペット避難場所の様子。ペットの同行避難についての詳細は、右のQRコードからご覧いただけます。



**答** ニーズ調査を進め、結果を踏まえ、対応を検討する。

**問** 災害応援協定で幅広く連携し、支援体制がとられている。運用を想定した際に課題がある場合、見直しなどを行うことも必要と考えるが

**答** 協定内容が災害時に有効に機能するよう、平時から協定先と連絡をとり、必要に応じて内容を見直すとともに、関係強化を図る。

**問** ペットの同行避難は飼い主の万が一の際に備えた日頃の関わりが大きいと考える。広く準備を呼びかける必要があると考えるが

**答** 全ての避難所で同行避難が可能

避難所での飼育は、原則飼い主の責任。そのため、平時から災害に備えておくことが重要。周知内容や方法を工夫しながら普及啓発に取り組み

**問** 避難所の開設には迅速かつ安全に対応することが求められる。開設担当職員の参集場所はどこか。どのように対応するのか

**答** 開設職員は本庁に参集。遅くなる場合は避難所がある地区の支所職員等が開設。初動体制や非常招集訓練などにより対応力強化に努める。

**問** 災害時に地域住民等への支援を担い、断水してもきれいに使えるトイレを設置するなど、市内の道の駅を災害対応拠点として再整備しては

**答** 道路情報等を提供し、避難や休憩ができるよう、防災に係る機能の確保に努める。トイレは防災機能の強化に向け、関係部局と連携する。

**問** 指定管理者制度において、実情に即した指定管理料となっているのか。特に人件費は、現場を歩く中で増額を望む声があるが

**答** 物価や人件費の変化を的確に把握できるように、施設所管課が指定管理者の声をしっかりと聴き、適切な

価格転嫁ができるよう協議する。

**問** 若者奨学金返還支援事業では、県の事業との併用を認め、県内大学卒業生や新卒に限定せず、35歳未満や転職者も対象とすべきでは

**答** 県との連携をさらに強め、課題を整理しながら、定着を促進するため、幅広く検討していく。

**問** 学生が市内の就職先を探す際、欲しい情報にたどり着きづらいとの声がある。市内企業の情報を得やすい環境をつくる必要があるのでは

**答** 就職情報サイト「おしごとなが」のリニューアルを検討する。求めている情報を適時、適正なタイミングで発信できるように一層努める。

**問** 公明党市議団は5歳児健診を何回も取り上げてきた。国も助成金を出し、本気で実施をめざしている。5歳児健診の導入を求めるが

**答** 庁内関係課でワーキンググループを立ち上げ、現状分析に取り組んでいる。健診後の支援体制整備を含め、さらに検討を進める。

**問** 「みらいハッピーケン」プロジェクトの今後に向けた市長の思いは

**答** 様々な経験から多くを学び、チャレンジして人生の扉を開けるきっかけになってほしい。

**問** 離婚後の子どもの支援について、先進自治体では面会交流サポート事業がある。よい取り組みと考えるが

**答** 子どもにとってどのような支援が望ましいか研究する。



法務省では、養育費と親子交流(面会交流)の取り決めについて分かりやすく説明したパンフレットを作成している。パンフレットは上のQRコードからご覧いただけます。

## 個人質問

改革ネット 鈴木 洋一

**問** 指定緊急避難場所は事前に開設準備を進め、警戒レベル3発令時に、該当地域では一斉に開設すべきでは

**答** 事前に開設準備を進め、体制を整え、臨機応変に対応していく。

**防災行政無線の内容をもう一度聞きたい時は？**

**0120-479-231**  
(通話無料)

※豊野、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条地区の個別放送を除く

防災アプリ「長野市防災ナビ」から、  
文字と音声でも確認できます。

ダウンロードは  
こちらから



広報ながの令和7年1月号に掲載された「防災行政無線の内容をもう一度聞きたい時は？」

**問** 令和6年7月実施の更北地区住民自治協議会の住民意識調査アンケート結果によると、防災行政無線について「あまり聞かない」「聞こえない」との回答が約五八%だった。内容を聞き逃した、よく聞こえなかった、内容が聞き取れなかった場合は、すぐに防災行政無線音声自動応答装置で確認してもらうことを「広報ながの」で大きく広報し、各家庭で活用できるように、周知すべきではないか。

**答** 防災情報を確実に届けるため、その方にとってより適した手段につ



長野市の都市計画の基本方針を示した「長野市都市計画マスタープラン」。長野市都市計画マスタープランの内容は、上のQRコードからご覧いただけます。



**問** 都市計画マスタープランの見直しを行う上で、将来の都市構想や土

**答** 準備組合が事業計画を作成中。年度内にまとめ、再開発組合の設立認可申請に関する手続きを進める。

**問** 長野駅前B-1地区再開発事業の進捗状況はどうか

**次世代長野 和田 凌弥**

いて改めて整理する。防災行政無線音声自動応答装置については、防災行政無線の周知と併せ、「広報ながの」でしっかり伝えていく。

※防災行政無線音声自動応答装置：防災行政無線からの放送が聞き取りにくい人、聞き逃した人などが、電話により放送内容を確認できる装置のこと。電話：〇二二〇一四七九一二—

**問** 北信エリアで高級リゾート化を

**新友会 宮崎 治夫**

**問** 閨バイトなどに対し、学校現場で犯罪抑止の教育は行っているか

**答** 学校や家庭等が協働し、子どもたちを加害者にも被害者にもさせない取り組みを進める。

**問** 大手コンサルタントとの連携協定が、市民スポーツに及ぼす影響は

**答** 人とまちの好循環が回り、成長を続ける取り組みを加速させたい。

**問** 高校再編について、生徒や保護者に情報を正しく伝えるべきでは

**無所属 倉野 立人**

土地利用、自然環境の保全などについてどのように考えていくのか

**答** 災害からの復興や流域治水との連携、新たな産業立地の確保、多様な土地利用、公共交通のあり方など、社会情勢の変化を十分に踏まえ、見直しを進めていく。

**問** 川中島幹線整備への対応は

**答** 川中島町原から篠ノ井布施高田までの一キロの区間は、通学路対策、周辺道路の混雑緩和など、道路ネットワークの連続性の観点からも重要

**問** 複合施設建設の進む川中島町原エリアの通学路の交通安全対策は

**答** 複合施設の営業が始まり、危険箇所が発生するおそれのある場合、個別の合同点検実施を検討したい。

**問** 激動の社会・経済情勢の中で、任期最終年にかける市長の思いは

**答** 任期後半の取り組み方針、定着・変革・挑戦の三つの柱のもと、それぞれの施策を確実に進める。本市に暮らし続けたいと感じ、一人ひとりが夢と希望をもてるよう、今やるべきことを全力で着実にやっていく。

**問** 本市を含むこの地域に興味をもってもらい、様々な展開が考えられるという意見にも耳を傾けつつ、一緒に進んでいくよう、観光まちづくりを強力に進めていくよう、しっかりと取り組んでいく。

打ち出している投資会社との連携について検討していく考えは

**答** 本市を含むこの地域に興味をもってもらい、様々な展開が考えられるという意見にも耳を傾けつつ、一緒に進んでいくよう、観光まちづくりを強力に進めていくよう、しっかりと取り組んでいく。

な区間。現在施工中の区間に引き続き事業に着手すべき区間として検討していく。

新友会 加藤 英夫

**問** 温暖化の影響を踏まえた新たな産地形成に向け、補助金制度の見直しや行政主導の品目選定を進めては

**答** 県やJAと連携し、温暖化に対する栽培技術などの情報収集や情報共有を行いながら、新たな栽培品目の選定や苗木補助のあり方について検討していく。

**問** 緊急警戒賃金をさらに見直すことで、猟友会の意欲向上と持続的な活動の基盤を整えるべきでは

**答** 猟友会会員と意見交換を継続しながら、引き続き危険獣対策に協力が得られるよう、支援策を検討する。  
※緊急警戒賃金：熊などの危険獣が出没した際に、緊急対応を行う猟友会員（長野市鳥獣被害対策実施隊員）に対し、市が支払う報酬のこと。現在、本市では一時間当たり千五百円となっている。

**問** 平時のドローン活用を推進することで、日常的な行政運営にも大きなメリットが期待されるが

**答** ドローン隊員の人材育成に努め



長野市災害支援ドローン隊の操作訓練

るとともに、災害用ドローンの有効活用について具体的な業務として実施していけるよう、他自治体の例も参考に各当局と連携し、研究を行う。

共産党 野々村博美

**問** 部活を地域移行したあるクラブでは月謝や用具代、修繕費など月々五千円の負担となった。「みらいハッケー」プロジェクトの電子クーポン利用は手続きが複雑で事務局が苦勞している。現金での支援が切実な声。経済的な理由で諦めることのないよう支援を求めたいが見解は

**答** 本格移行に向け、保護者の負担軽減を研究していく。

**問** 文化部の地域移行は受け皿が少なく廃部の不安がある。運動部に重点が置かれていると誤解を受けることのないよう対応を求めたいが

**答** スポーツも文化芸術活動も教育的価値の高いもの。声をしっかりと受け止めながら、活動が継続できるような環境を整えていきたい。



市内中学校の吹奏楽部では、今年度、地域移行に向けた実証事業を行っている

公明党 清水美加子

**問** 民生委員の方から、管理する名簿が多過ぎるとの相談を受けた。一枚に集約するなど、書類の軽減を図ることはできないか

**答** 現状では難しいが、議員提案の書式の変更を参考にし、民生委員の負担軽減を進めていきたい。

**問** 中途失明者に対し、県立総合リハビリテーションセンターでの支援が十分に周知されていないと感じる。県との連携など、どう考えるか

**答** 運営している県とも情報を共有し、適切な障害福祉サービスの提供が実施できるよう連携していく。

新友会 箱山 正一

**問** 市長が考える人口減少に対する長野市らしい未来への取り組みとは

**答** これからの人口減少対策を進める上で、女性が活躍できる環境の整備、安心して子育てができる環境づくり、長野市に住みたいと思う若者を増やす視点が大切。これらを踏まえ、長野市らしい未来への取り組みは、門前町として趣のある都市部と自然豊かな中山間地域を併せもつ本市の特性を生かしつつ、市民や事業者、近隣自治体など様々な関係者が密に連携し、よりよい社会を共につくる機運を高め、若い世代が長野市に暮らしたい、住みたい、長野市で子どもを育てたいと思える環境をつ



人口減少対策のひとつとして一層重要になる、安心して子育てができる環境づくり

くることだと思ふ。こうした取り組みを通じ、人口減少下であっても、多様な価値観を認め合い、あらゆる人の夢や希望が実現できる可能性あふれるまちをめざしていく。

改革ネット 原 よしこ

**問** 本市でも県と同様、小学校就学から三年生になるまで利用できる子育て部分休業制度を設けるべきでは

**答** 休暇制度の拡充について検討する必要があると考える。

**問** 早期に対応すべきと考える。

**答** 保護者の負担軽減が進むよう、学校徴収金の内容や保護者が負担し

ている学用品の内容を調査し、何らかの方策をとるべきでは

**答** 詳細な調査の実施を検討し、学用品については保護者の意見も取り入れ、負担軽減に向けて検討する。

**問** 算数セットを個人負担で購入させず、学校の備品とするべきでは

**答** 一人一台端末のアプリで代用することや、備品化も含めた様々な方法からの選択で、保護者の負担軽減につながるよう検討していく。



算数セットの一例

無所属 小泉 一真

**問** 青木島遊園地廃止検証報告書は

決裁権者を明確にする必要があったと指摘。明確にしなかった市長の責任は明らか。市長を含む処分は検証結果で判断するとの議会発言に背くことなく、市長は責任を取られては

**答** 事務改善に全庁を挙げて取り組みむのが私の責任と考える。

**問** 今の答弁で、市長は信用に値しないと自ら証明した。これでは信頼回復は望めない。一定規模以上の遊園地は条例設置とすべきでは

**答** 可能な遊園地について条例で都市公園とすることを今後検討する。

新友会 金沢 敦志

**問** 加齢性難聴者に対する補聴器購入補助制度の創設に対する意見は

**答** 市社会福祉審議会から、制度を創設するのが適当との答申を受け、補助対象者、要件等を検討している。答申内容を尊重し、意向に沿ったかたちの事業となるよう取り組む。

**問** 学ぶ場の確保のため、もんぜんぶら座の学習スペースの存続、市全体での学習スペースの確保は

**答** 今ある施設ごとの状況を踏まえ



もんぜんぶら座の学習コーナー

て検討する。関係部局とも連携し、学びの場の確保について検討する。

**問** 強度行動障害者と家族専用の福祉避難所設置に対する考えは

**答** ふだん利用している福祉施設が最善であると考えられるので、該当する福祉施設に対し、協力を依頼していきたい。

※強度行動障害：自分を傷つける、他人をたたく、物を壊すなど、周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になつていく状態のこと。

新友会 市川 和彦

**問** 市内小・中学生対象に一人当たり三万円のポイントを配布する全国に類を見ない独自施策「みらいハッケー」プロジェクトの今後は



「みらいハッピーケン」プロジェクトによる創作体験の様子

**答** 引き続き、一人でも多くの子どもたちに様々な体験、学びの機会が提供できるよう取り組みを進める。

**問** 家庭ごみの集積所への搬出から地域お助け隊制度の強化による戸別収集を提案するが、導入の可能性は

**答** 高齢化社会に対応したごみ出しのあり方について、全国の自治体の状況等も参考に研究したい。

**問** アーバスキュラー菌根菌を活用した乾田稲作について、農業振興と米作り継続の調査研究が必要。菌根菌による稲作の将来性は

**答** 水稲栽培に比べ労働時間の削減が期待され、後継者不足解決の手段の一つとして注目している。

※菌根菌：植物の根に共生して「菌根」と呼ばれる菌と植物の根が一体となったものを形成する菌類の総称。地中の養分を取り入れる役割があり、

肥料の削減や収量の増加など、農業への活用が期待されている。アーバスキュラー菌根菌はその一種。

**問** 大豆島地区の浸水被害に対する土木要望について、今後どのように対応するのか

**答** 実施箇所について、令和7年1月末までに地元役員へ回答する予定。

次世代長野 内藤 武道

**問** 若者支援について市の考えは

**答** 新たな個別計画を含め、今後の若者施策のあり方や計画への反映を検討していく。

**問** 「若者政策担当」の設置は

**答** 若者政策の充実を図るための体制について検討を進めていく。

**問** もっと魅力ある成人式に向けてあり方を検討し、見直す必要があると考えるが、市の見解は

**答** どんな開催方法がふさわしいか、若者の意見を聞き、地域と議論を重ね、関係機関も含め協議していく。

無所属 山崎 裕子

**問** 産後ケア事業利用料の補助率を

引き上げ、必要とする家庭が利用しやすく、事業者が安定的に事業を継続するための措置を急ぐべきでは

**答** 利用者と事業者双方の事情を勘案し、国の方針に沿って利用しやすいう環境を整えられるよう検討する。

**長野市 産後ケア事業のご案内**  
～お母さんと赤ちゃんをサポートします～

出産後は、お母さんのからだごも心も不安定な時期です。長野市では、安心して子育てできるよう、産後ケアや産後ケア事業を実施しています。ぜひご利用ください。

**利用できる方** 長野市に住民票のある、医療行為を必要としない  
出産後1年未満の方とお子さんと、体調不良や育児不安がある方

赤ちゃんの生活が落ち着いた後に

体調がすぐれない  
寝ない

育児がうまくいかない

育児の悩みを  
相談したい

困っていることをお話し、必要なケアを行います。

◆からだのサポート  
・お母さんの体調管理  
・おっぱいマッサージ

◆こころのサポート  
・育児相談  
・産後ケア、産後ケア相談

◆育児サポート  
・母乳、母乳のケア  
・赤ちゃんの抱っこ、お風呂の準備

**宿泊型**  
医療機関等に宿泊します。  
(食事提供あり)

**通所型**  
8時間または40時間、  
産後ケア室で過ごします。  
(食事提供あり)

**訪問型**  
1回30分  
ご自宅に助産師が訪問します。  
お風呂や授乳のサポートも、ご希望の  
対応、受付、実施いたします。

長野市では、安心して子育てができるよう、医療機関等で産後ケア事業を実施している

**問** 産後の家庭が誰かの手を借りたときに、条件によらず家事育児支援を受けられる制度が必要では

**答** 新たな制度の導入については考えていない。子育て世帯訪問支援事業など既存の事業を効果的に活用し、必要な支援が届くよう対応する。

新友会 本木 晋

**問** ポイ捨て防止条例施行後の活動

の効果と、さらなる活動の計画は

**答** たばこのポイ捨てはここ数年増加傾向だが、たばこ以外のごみは減少傾向。下水道のデザインマンホール蓋を利用した啓発広告のほか、人気のうんこドリルを活用し、小学生を対象に新たな啓発や学習会を実施。

**問** 8月22日の集中豪雨により日詰地区など広範囲で内水氾濫が発生した。遊水池設置など今後の対策は

**答** 雨水管理総合計画を策定中で、日詰地区に遊水池を整備した場合の効果は、整備方針を定める中で検討する。併せて、浸水要因は周辺の水路網を詳細に調査し、検証したい。

**問** 外国人が増える中で、市全体の多文化共生に対する所見は

**答** 外国語での表示や案内は安心して暮らす環境づくりの第一歩。市有



長野大通り沿いの歩道に設置された、ポイ捨て等禁止啓発デザインマンホール蓋

施設でも外国語での表示や案内で利用しやすい環境の整備に努めている。今後も日本人住民とのさらなる交流を図り、多文化共生を推進する。

公明党 浅川 徹

**問** 感震ブレーカーの広報と普及促進に努めるべきでは

**答** 感震ブレーカーの認知度を高めていく必要性を認識している。今後示される国のモデル計画を参考に、普及促進を図っていく。

※感震ブレーカー：設定値以上の大きな揺れを感知すると、自動的にブレーカーを落として電気を止める装置。震災時の電気火災を減らす効果が期待されている。

**問** 中山間地域におけるオンライン診療を検討すべきでは

**答** オンライン診療は、地域医療をめぐる諸課題への対応策の一つであると考え。現在の医療体制を維持することに最大限努めつつ、将来の中山間地域における医療のあり方について、調査研究を進めていく。

共産党 阿出川 希

**問** 長野市の在宅福祉介護料を三万

五千円から引き上げられないか

**答** 介護保険制度の定着により、減額してもよいのではないかと、ありがたいなど、様々な意見がある。当面は現在の支給額を維持したい。

**問** 松本市インクルーシブセンターでは、教育、福祉、医療が連携し、一体的な支援を行っている。本市も、こども未来部、保健福祉部、教育委員会が連携することについて見解は

**答** 障害児を育てる家庭では、目に見えない苦労や様々な課題を抱えている。これらの課題の解決をめざし、関係機関や庁内関係課と連携して、ライフステージの変化により途切れない支援の実現に取り組んでいく。

※松本市インクルーシブセンター：松本市が開設した、発達障害や発達に心配のある子ども、医療的ケアが必要な子どもなどとその家族を、専門家チームが乳幼児期から高校卒業の時期まで切れ目なく総合的に支援していくための施設。

無所属 山崎 昭夫

**問** 本市の市政番組について、年間の予算額と視聴率の状況は

**答** 年間予算額は、テレビとラジオ

を合わせ約二千三百七十万円。民放四局の平均個人視聴率は、昨年度一・六一%で、徐々に減少傾向にある。

**問** 他市ではテレビ放送をやめ、SNSを活用して国内外へ発信。効果的に予算も削減している。本市でも見直す検討を行うべきではないか

**答** 職員が情報発信しているSNSは徐々に増加し、成果も出ている。広報広聴課にSNSのミニ放送局のような機能をもたせていきたい。



市長自ら市内を巡る「まちづくり探訪」。広報広聴課職員（左）が鬼無里で市長を取材した

新友会 青木 敏明

**問** 市民と行政が手を取り合っテータやIT技術を活用して具現化し、公共サービスを皆で使いやすいもの

にする活動であるシビックテックに、積極的に取り組む必要があるのでは

**答** シビックテックの取り組みは、行政だけでは行き届かない領域での活動につながり、ニーズや課題を市民や民間団体等の視点、発想で解決する方法を見いだすことで、よりよい公共サービスにつながると期待できる。市の取り組みの方向性や、民間団体等との関係づくりの具体的な方法などについて検討していく。

※シビックテック：「市民（Civic）」と「テクノロジー（Technology）」を組み合わせた造語で、市民がデジタル技術などを活用して、地域課題の解決をめざす取り組みのこと。

**問** 長野市を通り過ぎる多くのインバウンドに、本市に滞在した場合の利便性や快適性を発信できれば、本市をハブとしたスキーリゾートライフが提案可能。そのためには、滞中に必要な情報を一元化し、発信することが必要不可欠だと考えるが

**答** 日々進化するデジタル技術を活用した使い勝手のよい一元的な情報提供の仕組みは、インバウンドを獲得する上で有効な手段。様々な事例等を研究し、快適な受け入れ環境の整備に向けた取り組みを進める。



長野市ジビエ加工センター(長野市中条)

公明党 藤澤 紀子

**問** 現地決済型ふるさと納税を一部始めているが、本格的に導入し、市有施設でも進めてはどうか

**答** P Rを積極的に行うとともに、決済方法の拡充や新規返礼品開設など、前向きに検討していく。

**問** ジビエ加工センターの運営改善の取り組みと現在の課題はどうか

**答** 搬入個体の質の向上と職員のスキルアップに取り組み、シカの食肉加工量が九%から二〇%まで上昇。取引先は食肉用五十七社、ペットフード十九社に増加。残渣処分費高騰が課題で、新たな処分方法を検討中。

共産党 黒沢 清一

**問** 小・中学校教員は、給食の時間は子どもたちの指導で現場を離れられず休憩時間がとれない。休憩時間確保のための手立ては

**答** 休憩時間の交代制、または個別に休憩時間を与えることが可能であることを各校長に示した。また、現在改定中の働き方改革推進のための基本方針案でも、具体例を示したい。

**問** 信州新町産業廃棄物処理場を計画している業者が所有している計画地の隣接地から鉛が検出された。因果関係のある廃棄物の放置は違法状態。この状態で廃棄物処理場施設許可を出せるのか

**答** 廃棄物処理施設設置許可は、生活環境保全上の観点から、廃棄物の撤去に確実な見通しが立つ状態であれば、廃棄物処理法に基づく許可を出すことは難しい。

新友会 北沢 哲也

**問** 通学路や主要な幹線道路については、自転車専用レーンの整備を進めるべき。市として自転車道の整備



自転車専用レーンが車道と歩道の間に設置された市道運動公園通り線

計画をどのように進めていくのか

**答** アンケートを行い、特に利用率が高い道路や公共交通機関へのアクセス道路等を優先して、令和6年度末までに三十・一キロメートルの区間が整備完了となる見込み。現在、第二次自転車ネットワーク計画を策定中で、整備路線を十五・四キロメートル延長して11年度末までの目標を四十五・五キロメートルとし、自転車走行空間の整備がおおむね完了する見込み。

**問** 赤字バス路線への補填額は年々増加しているが、バス事業者としても運転手不足の中、路線の維持が難しくなってきたと聞く。路線維持のため、市としてどのような方策

を検討するのか

**答** バス路線の再編を検討。大型車両の運行区間を短縮し、終点を乗り換え拠点として整備し、細かな需要に合わせた小型車両に乗り換えることで、効率的な運行に転換する。中心市街地では自動運転バス導入に向けた調査研究を進め、中山間地域ではA Iオンデマンドエリアをさらに拡大し、路線の再整備を進めていく。

**問** 犬の散歩ができる公園を拡充することに、都市公園条例の見直しを含め、どのように考えるか

**答** 犬の散歩ができる公園を拡充するため、条例の見直しを検討していく。見直しは市民の理解を得ながら、公園を利用する全ての方が快適に過ごせるよう、取り組んでいきたい。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。



(注) 12月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、2月下旬以降順次行う予定です。

審議結果については、3・4  
頁の審議結果一覧を併せて参  
照ください。

# 常任委員会のうごき

## 総務委員会

●複数の市町村で消防事務の共同処理等を行う消防の広域化や連携・協力について、長野県は、県内における今後の進め方などの再検討を始めるとのことだが、まずは、現在、本市が先行的に進めている須坂市消防本部との消防指令業務の共同運用といった消防事務の一部を共同処理する連携・協力を確実に実施し、消防広域化については慎重に検討していくよう要望した。

●バスなどの地域の公共交通は市民の日常生活に欠かせないものだが、現在、運転手不足によるバスの減便や路線の廃止といった利用者への影響が課題となっており、市では、バスの運転手を確保するための支援事業等を実施してきたものの、課題の解決に向けてはさらなる対策が求められることから、これまでの事業の検証や他自治体の先進事例等の研究を重ね、引き続き積極的な支援策を実施するよう要望した。

●請願第十四号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

## 福祉環境委員会

●要介護認定調査の委託について、

市では、今まで要介護認定調査を市の直営調査員で行ってきたが、本年10月から、認定調査の質及び量を担保しながら、件数増加にも対応した体制を構築するため、県が指定した「指定市町村事務受託法人」による認定調査を開始し、今後、令和8年度にかけて、これまでの直営による認定調査に加え、段階的に受託法人による認定調査に移行すること。

●要介護認定については、申請から認定までにかかる所要日数の短縮が図られているものの、法定期限より日数を要している状況であることから、受託法人を加えた調査体制の強化を図るとともに、医療機関や審査会事務局である長野広域連合等とも連携を深め、所要日数のさらなる短縮に努めるよう要望した。

●継続審査中の請願第八号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

●請願第十五号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

## 経済文教委員会

●二〇二五年大阪・関西万博に出席が計画されている本市ブースは、「川中島白桃」と「川中島の戦い」をテーマに、気候変動と戦う農業の

現状と、自然の恵みや平和の重要性を伝える体験型の展示とのことである。この機会に川中島白桃を国内外に広くアピールし、気候変動と戦う農業者の支援につながるようなイベントとなるよう要望した。

●市では、全中学校における部活動の地域移行を進めているところであり、その感想や受け止め、希望などを把握するため、児童・生徒、保護者などを対象としたアンケート調査を発売している。アンケート結果の内容について、関係部局や今後の活動を担っていく団体等と情報共有を図ること、また引き続き、児童・生徒、保護者に対し丁寧な説明や情報発信に努めることを要望した。

●11月に農業委員会との意見交換会



経済文教委員会と農業委員会との意見交換会の様子

を実施し、農業を取り巻く様々な課題について各地区調査会長から説明を受け、活発な意見交換を行った。

## 建設企業委員会

●市は、犀川第二緑地に北信地域最大級の広さのドッグランを整備する。その整備にあたっては、利用者だけに限らず、その施設周辺利用者にとっても安全・安心な施設となるよう、必要に応じて他部局と連携しながら事業を進めるとともに、開設後も、ドッグランを含む公園利用者の意見を聞きながら、公園施設のさらなる魅力向上を図るよう要望した。

●住宅の耐震化については、能登半島地震を受けて、市民の住宅耐震改修に対する関心が高まっているこの機会を捉え、補助金を直接事業者に支払う代理受領など所有者の負担を軽減する制度の周知を一層進めるとともに、耐震改修事業に対する補助金のさらなる予算の確保に努めるよう要望した。

●上下水道施設の耐震化については、市民に向けた耐震化の状況などの情報発信を行うとともに、国へ補助金の拡充を要望するなど、耐震化率向上のためのさらなる予算の確保に努めるよう要望した。

# 特別委員会のうごき

## 中山間地域活性化調査 研究特別委員会

本委員会は、人口減少や高齢化で悩む中山間地域の現状をしつかり捉え、移住・定住も含め、中山間地域のあり方について調査・研究を行うため令和5年10月に設置された。二年目となる令和6年10月からは、新たな委員により、引き続き同様の目的のもとに調査・研究を進めている。

10月の委員会では、持続可能な中山間地域の実現に向けて、本年は、中山間地域に対する財政的支援に絞り調査・研究をすることとした。

11月の委員会では、調査・研究事項を具体化するため、長野市やまさと振興計画の概要と中山間地域への財政的支援状況について調査し、多岐にわたる中山間地域の課題に対する市の具体的な財政的支援策の説明を受け、現状の把握に努めた。その上で、本年は森林環境譲与税の活用を踏まえた森林整備、林業関係に対する財政的支援について調査・研究を進めることとした。

## 公共交通対策調査研究 特別委員会

本委員会は、令和3年9月に設置され、令和5年10月に定めた設置日



令和7年3月にサービスを開始する地域連携ICカード「KURURU (くるる)」(長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ23-0090)

的である「交通空白地域の解消をめざし、オンデマンド交通の検証・拡大、市街地周辺での移動手段の確保について調査・研究を行う」のもとで、引き続き調査・研究を進めている。

10月に開催した委員会では、正副委員長の互選を実施した。

11月に開催した委員会では、「地域連携ICカード」や「新バスロケーションシステム」の導入、長野駅周辺への「デジタルサイネージ」の設置といった、利用者だけでなく多くの関係者の利便性を高める施策等について説明を受け、長野市の公共交通の現状・課題と今後の公共交通について調査した。

12月に開催した委員会では、1月

実施予定の行政視察について協議し、先進地の取り組みを参考に、現実的で有用性のある調査報告につなげることを確認した。

## 水道事業広域化調査研究 特別委員会

本委員会は、設置から三年目を迎え、新たな委員のもとで県及び三市一町で検討している上田長野地域水道事業広域化について調査・研究を進めている。

11月の委員会では、水道事業広域化の概要及び検討状況について調査するとともに、重点的に調査・研究を行う事項について協議した。

12月の委員会では、上田長野地域水道事業広域化基本計画(素案)のうち組織体制・職員の基本方針、財政運営・水道料金・一般会計操出金の基本方針、その他の基本方針のうち、下水道事業について調査した。

また、市民説明会では市民の理解が得られるよう丁寧な説明に努めるよう要望した。

今後、上田長野地域水道事業広域化協議会において事業統合による水道事業広域化の方向性が決定されていく見込みであることから、委員会としての意見を示すため、3月定例会で中間報告することを決定した。

## 広報広聴委員会を設置 しました

この委員会は、議会全体の広報・広聴機能をさらに強化するため、議会の情報発信に専門的に取り組む組織として、令和6年10月に設置されました。委員会では、ながの市議会だよりの編集作業、議会全体の広報・広聴のあり方の検討のほか、市民と議会の意見交換会に係る企画、運営などについても検討を行います。

引き続き、より市民に身近で親しまれる議会をめざし、鋭意調査、検討を進めてまいります。

## 長野市議会ハラスメント 調査委員会を設置 しました

この委員会は、長野市議会におけるハラスメントの防止等に関する要綱に係る相談申出が議長になされたことを受け、その問題の解決に向けて協議を行うため、令和6年10月に設置されました。

協議にあたっては、プライバシーの保護に配慮する必要があることから、取り扱う内容に応じて非公開で行うなど、慎重に進めてまいります。

令和  
6年度

# 市民と議会の意見交換会を開催しました

～若い世代にもっと議会を知ってもらおう！～

平成28年6月から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、高校生も投票できるようになりました。しかし、若い世代の投票率は低い水準にとどまっており、令和5年に行われた市議会議員選挙でも同様の傾向でした。こうした状況を改善するための方策を検討した結果、今年度の市民と議会の意見交換会は、議員を身近に感じてもらう議会を知ってもらうことを目的に、高校生や大学生を相手方として、初めてワールドカフェ\*方式により開催しました。

ふだん話を聞く機会のない高校生、大学生から率直な意見を聞くことができ、非常に有意義な時間となりました。また、参加者からは「この意見交換をきっかけに、もっと長野市の活動に興味をもって、積極的に関わっていきたいと思った」、「議員をこれまでよりも身近に感じることができたので、今後の選挙に興味をもてるかもしれない」などの感想が聞かれ、私たち議員も大変感銘を受けました。

このような機会を通じて、議員を身近に感じてもらう、市民により身近な議会となるよう取り組んでいきます。



清泉女学院大学



市立長野高校

\*ワールドカフェ…カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数のテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーを入れ替えて対話を続けることで、多くの意見や知識を集めることができる対話手法の一つ。

広報広聴委員

- |              |      |       |
|--------------|------|-------|
| 委員長<br>金沢敦志  | 阿出川希 | 寺沢さゆり |
| 副委員長<br>加藤英夫 | 原ようこ | 山崎昭夫  |
| 藤澤紀子         | 和田凌弥 | 北沢哲也  |

昨年10月から広報広聴委員会が新設されました。これまで「市議会だより」の編集は議会報編集委員会で行っていましたが、これを広報広聴委員会に移管しました。また、市民との意見交換会も当委員会が担当します。議会としては、広報広聴は重要な議会活動と考え、独立した委員会としました。市民の皆様に分かりやすい議会活動報告、きめ細かな意見聴取を行ってまいります。

編集後記

● 日程案は変更となる場合があります。  
● 諸願「陳情」を希望する人は開会日まで提出してください。  
● 傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。  
・ 本会議：第一庁舎8階（傍聴席入口）  
・ 委員会：第一庁舎7階（議会事務局）  
● 乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆写サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。（いずれも無料）

3月市議会定例会 会議予定

- 2月26日(水) 本会議(会期の決定/議案上程)
- 27日(木) 3月4日(水) 休会
- 3月5日(木) 本会議(一般質問(代表))
- 6日(木) 本会議(一般質問(個人))
- 7日(金) 本会議(一般質問(個人))
- 8日(土) 9日(日) 休会
- 10日(月) 本会議(一般質問(個人))
- 11日(火) 本会議(議案質疑等)
- 12日(水) 14日(金) 委員会(総務/経済文教)
- 15日(土) 16日(日) 休会
- 17日(月) 19日(水) 委員会(福祉環境/建設企業)
- 20日(木) 24日(月) 休会
- 25日(火) 本会議(採決)



長野市議会

長野市議会ホームページ  
<https://www.city.nagano.nagano.jp/shigikai/index.html>  
 E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
 TEL: 224-5057 FAX: 224-5105